

ふれあい

発行日 令和3年3月31日

発行責任者 会長:郷湖伸夫



コロナ禍における社会福祉活動

泉区南中山地区社会福祉協議会
会長 郷湖伸夫

全世界で、新型コロナウイルスが急激に感染拡大した令和二年。日本では、四月に緊急事態宣言が発出され、人々の生活が一変しました。

このような状況下、私たち社会福祉協議会は、地域の方、ボランティア、民生・児童委員、仙台市社会福祉協議会・福祉施設等とともに、ボランティア活動や地域福祉活動を通じて、誰もがいきいきと安心して暮らせる、「ともに生きる豊かな地域社会」をめざす活動を続けてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の広がり、人と人が互いに距離をとり、接触する機会を求めています。このため地域住民等による、福祉活動やボランティア活動は休止や延期等活動自粛を余儀なくされました。

この間、閉じこもりによる高齢者の虚弱化の進行、社会的孤立の深刻化等が増しています。一方で、こうした状況は、誰かとながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さを私たちに教えてくれました。

そして何よりも、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛中でも、つながりを途切れさせない活動、必死につながろうとする取り組みが全国各地で生まれ始めています。こうした活動は、緊急事態宣言解除後も、社会福祉協議会では新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動を七月から再開・実施することに致しました。

各町内の理事や福祉協力員の方が中心になって行っている「わいわいサロン」と「いきいきサロン」は再開しました。しかし、飲食を伴う「ふれあい食事会」や「敬老祝賀会」、そして、「男の料理教室」「芋焼き会」の行事は、やむなく中止することになりました。

表紙の写真は、十月三日(土)に実施した、「茶話会」の様子です。茶話会は、当初予定していた「ふれあい食事会」の代替として開催しました。

ゲストは、聖和学園短期大学キャリア総合学科の学生さんをお願いしました。最初は、聖和短大の教室と会場の市民センターをオンラインで繋ぐ予定でしたが、茶話会の参加人数が少なかったため、学生さんが会場に来て対面で行うことになりました。一年生の学生さん達が市民センターで軽運動や演奏などを行い、二年生の学生さんが自宅からテレビカメラで参加するなどして、ちょっとしたオンライン授業の雰囲気を感じられた茶話会になりました。

一時間という短い時間でしたが、久しぶりに地域の方同士がふれあい、交流が広がったと感じられる場面が多く見られました。今後も、感染拡大防止に配慮しながら、このようなふれあいの場を増やしていきたいと思えます。

四月以降には、日本でも段階的にワクチン接種が実施されるようですが、一日でも早く新型コロナウイルスの感染が終息し、元の生活に戻ることを願っています。



10月19日（月）担当：三丁目南町内会

内容：木製の洗濯ばさみで、ロッキングチェア作り



100円ショップで売っている木製の洗濯ばさみを材料に、ロッキングチェアを作りました。

洗濯ばさみをばらし、背もたれや脚の部分を想像しながら、接着剤で貼り合わせて、素敵なロッキングチェアが完成しました。



11月16日（月）担当：三丁目西町内会

内容：お正月用祝箸の飾り付け



紅白の水引を使って作りました。基本の「淡路結び」の型に苦労しました。その後、祝箸に付け、名前を書いて出来上がりです。段々慣れると意外に簡単にできました。



12月21日（月）担当：三丁目北町内会

内容：ミニらんたん作り



初めに体操を行った後、簡単にできる台座作りを始めました。ランタン部分は、事前に理事と協力員さんに作っていただいたので、それを台座に乗せて完了です。作業も短時間に終わり、最後はお互いの作品を鑑賞しながらの懇談会で終了しました。

3月15日（月）担当：四丁目東町内会

内容：ミニブーケ作り



しばらくぶりの開催で、開始が遅れましたが、短時間で作業を終えることができました。初めに造花を小さめに切って、花束を作りました。四垂桜をイメージして作りましたが、思った以上に難しく、工夫しながら作業を進めました。

わいわいサロン

毎月第3月曜日の午後1時から4丁目の老人憩の家で行っています。

7月20日（月）担当：二丁目東町内会

内容：簡単にできるマスク作り、切り絵

緊急時にも簡単に作れるマスクと切り絵を行いました。マスク作りは身近にある材料（ハンカチやひも）を利用して、緊急時に対応できる製作法を学びました。切り絵は、細かな作業の連続でしたが、最後までやり遂げることができました。



8月17日（月）担当：二丁目西町内会

内容：手先の運動・頭の体操

折り紙のリンゴを使っての皮むき競争の後には、頭の体操です。「動物さがし」「野菜さがし」「都道府県さがし」「数字ビンゴ」などで、頭をフルに使いました。暑い中でしたが、久しぶりに、頭と手を使ってボケ防止になりました。



9月20日（月）担当：三丁目東町内会

内容：キラキラと輝く万華鏡作り



除光液と綿棒を使って、穴をあけるような感覚で光の通り道を削り取っていきます。あいた穴に色とりどりのセロファンを貼り、立方体に組み立てると…。あら、不思議！覗くと様々な光の色がキラキラと！！すてきな万華鏡のできあがり！！出来上がった万華鏡をお互いに鑑賞しながらお茶を飲み、楽しく閉会しました。

敬老祝賀会を中止！

～紅白饅頭・記念品を贈る～



例年行っていた敬老祝賀会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく中止することにいたしました。南中山社会福祉協議会の活動では、最も大きな行事ですが飲食を伴う行事は感染リスクが大きいということで中止しました。敬老祝賀会を例年楽しみにしていたら、中止してしまうと思いますが、このような状況ではやむを得ない判断だったと思います。

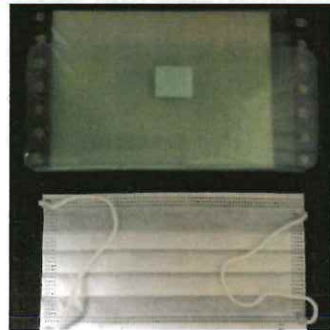
理事会でも、敬老祝賀会に代わるものがないかと、いう話題が出て、話し合いの結果、紅白饅頭と記念品を贈ることが決まりました。記念品については、いろいろ候補が出ましたが、手作りのマスクケースに決まりました。

マスクケースの製作には、理事や福祉協力員以外にも、たくさんの方のボランティアの方に参加していただき、二日間約千枚のマスクケースを作ることができました。

記念品 紅白饅頭・マスク ケース（封筒の中）



マスクケース （マスク付き）



一枚のクリアファイルから、二枚のマスクケースを作り出す。型紙通りにカットし、両面テープで両サイドを貼り付け、ふたの部分をマジックテープで閉じれば完成です。

マスクケース製作の様子



記念品等の製作では、仙台市社会福祉協議会や日本赤十字社、そして南中山連合町内会からの補助金が使われています。

南中山地区担当民生・児童委員の紹介

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱を受け、生活や福祉全般に関する相談・援助の活動をボランティアで行っています。

また、子育て家庭への相談・支援を行う児童委員も兼ねています。相談内容に応じて専門機関につなぐなど、様々な機関と連携して活動しています。いずれも任期は3年です。（再任が可）

今回の改選で、委嘱された南中山地区の委員は、次の方々です。（敬称略）

島 幸枝	担当地区	南中山一丁目1〜26番地
末永しづ江	〃	南中山一丁目27〜43番地
佐賀美枝子	〃	実沢字中山南・中山北
多田 豊	〃	南中山二丁目
長島頼子（新任）	〃	南中山三丁目20〜40番地
浅井久美子	〃	南中山三丁目1〜19番地
柏山 浩	〃	南中山四丁目1〜12番地
		南中山六丁目
		南中山四丁目13〜34番地
		南中山五丁目
主任児童委員 土門比呂子・安藤 香		

《退任》 團 順子 十六年の長い間、ご苦勞様でした。

飛沫防止グッズを購入しました！

仙台市社会福祉協議会からの補助金で、コロナ禍での活動に必要な器具等を購入しました。

飛沫防止に効果がある「パネルパーテーション」自動で手指消毒ができる「オート消毒液スプレー」などを揃えることができました。

早速、「いきいきサロン」や「わいわいサロン」で活用させていただいております。ありがとうございました。

